



法律



10代から知っておきたい法律の基本

「悪いこと」したら、どうなるの？

藤井誠二／著 理論社【327フ】

テレビやネットで報道されているような事件を起こした、自分と同じ年代の少年がどうなるか知っていますか？「子供でも死刑になるの？」「少年院ってどんなところ？」など事件を起こした後どうなるのかが解説されています。

見やすいテーマと親しみやすい絵で身近な問題に向き合ってみましょう。

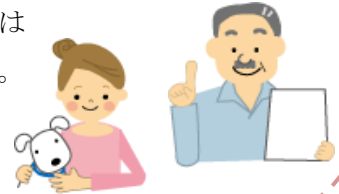


父と娘の法入門

大村敦志／著 岩波書店【S320オ】

身近な話題をきっかけに、法学者の父と高校生の娘との対話形式で話が進んでいきます。動物を例えにしながら、分かりやすい解説が書かれています。

著者の娘がイラストを考えたり、説明の難易度をチェックした本です。入門書として一度読んでみてはいかがでしょうか。



中・高生のための法律ガイド

きなりきよしげ 喜成清重／著 民事法研究会【320キ】

生まれてから死ぬまでの一生の間に、私たちは数多くの法律に関わっています。

子どもの頃は親がやってくれていた手続きなども、成長するにつれて自分で関わる機会が増えていきます。

事前に勉強しておくことも大切ですね。



憲法はむずかしくない

池上彰／著 筑摩書房【323イ】

憲法のことをニュースで取り上げられたとき、理解できないことがあるかもしれません。そんな時はこの本を手にとってみてください。テレビでおなじみの池上彰氏による解説で、条文の読み方や憲法の成りたちなどを学んでみましょう。



※【 】内は、請求記号（本の背ラベルの記号）です。